

平成 19 年 死亡 災害 発生 状況

沖縄労働局

番号	場所	型 別	起因物別	業種別	発生時期	年齢	労働者数 (規模別)	性別	発注者別	発生状況
1	離島	はさまれ、巻き込まれ	コンベア	その他の食料品製造業	3月中旬	50代	90～99	男		製糖工場内に設置された集中脱葉施設の清掃作業中、集中脱葉機トランシュベルトコンベアのベルトとローラーの間に手から巻き込まれ、胸部圧迫により窒息死した。
2	南部	交通事故	トラック	セメント・同製品製造業	4月下旬	70代	10～19	男		工事現場から車道へ出ようとしたコンクリートミキサー車が、街路樹の横にいた誘導者(同僚)に気付かず左折した際に、誘導者がコンクリートミキサー車と街路樹に挟まれ、多臓器不全等により9月18日に死亡した。
3	中部	崩壊・倒壊	荷姿のもの	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	5月下旬	20代	1～9	男	民間	トラック(1.5t車)に積載した鋼材(8本を束ねたもので総重量、約200kg)を荷台上で固定する作業中に、荷が横滑りしたため、これを支えようとした被災者が荷台から墜落し、被災者の頭部に当該荷が落下して当たった。
4	南部	崩壊・倒壊	建築物、構築物	その他の土木工事業	6月下旬	40代	1～9	男	民間	コンクリートブロック製擁壁を高速カッターを用いて切断作業中に突然当該擁壁(高さ1.1m、幅2.7m)が撤去作業を行っていた足場側に倒れ、足場上で作業を行っていた作業員が下敷きとなり、労働者1名が死亡、事業主が鎖骨々折等により被災した。
5	離島	感電	送配電線等	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	7月下旬	40代	1～9	男	地方公	建屋の改修工事において、電気ケーブルを撤去する作業を行っていたところ、作業員が当該電気ケーブルをカッターで切断した際に感電し、心肺停止状態となり、21日後に死亡した。 災害発生時の電気ケーブルには、200ボルトの電圧がかかっていた。
6	離島	溺れ	水	水道業	9月中旬	30代	10～19	男		ダムから浄水場への送水を止めるため、素潜りにより、水深1m付近の取水口を塞ごうとしたところ、右腕が取水口に吸い込まれ溺れた。
7	南部	崩壊・倒壊	地山・岩石	電気通信工事業	9月中旬	70代	10～19	男	国	マンホール設置のために深さ約2mまで地山を掘削し、矢板を設置していたところ、掘削面の一部が崩壊し、溝内の作業員が生き埋めとなった。
8	中部	崩壊・倒壊	建築物、構築物	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	11月中旬	40代	10～19	男	地方公	校舎解体工事現場において、油圧圧砕機(ニブラー)を使用して、高さ約1.9mに位置する廊下(階段部分)を解体していたところ、当該階段部分が倒壊し、ニブラーを運転していた作業員が下敷きとなり死亡、ほか1名が肋骨々折により被災した。
9	南部	転倒	通路	水運業	11月下旬	60代	40～49	男		駐車してあった社用車(軽自動車)のそばで頭部を打撲して倒れているところを発見され、搬送先の病院で外傷性くも膜下出血により4日後に死亡したものの。